

# 海洋情報フォーラム 参加者アンケート結果

平成 25 年 3 月

## ○アンケート回答率について

- ・フォーラム参加者数 216 名
- ・アンケート回答者数 102 名
- ・アンケート回答率 47%

## ○アンケート結果について

### 1. 今回のフォーラムを知ったきっかけをお聞かせ下さい。(複数回答)

- 1) 国土交通省のホームページ 9 名
- 2) 海上保安庁のホームページ 6 名
- 3) 国土交通省のメールマガジン 4 名
- 4) 関係機関、団体のメールマガジン、メーリングリスト 38 名
- 5) 関係者、同僚、知人等からの紹介 46 名
- 6) その他 4 名
- 7) 未記入 0 名

(計 107 件)

### 2. 今回のフォーラムに参加しようと思った理由をお聞かせ下さい。(複数回答)

- 1) 海洋問題に関心があるから 50 名
- 2) 政府や国土交通省、海上保安庁における海洋情報に関する取組に関心があるから 44 名
- 3) パネルディスカッション第Ⅰ部の「海洋情報の更なる活用」に関心があるから 10 名
- 4) パネルディスカッション第Ⅱ部の「海洋情報を活用した新産業創出の可能性」に関心があるから 20 名
- 5) プログラム全体に興味を覚えたから 25 名
- 6) その他 5 名
  - 海洋・船舶情報の領域で ICT 利活用を通じた新規ビジネスを検討しているため 等
- 7) 未記入 1 名

(計 155 件)

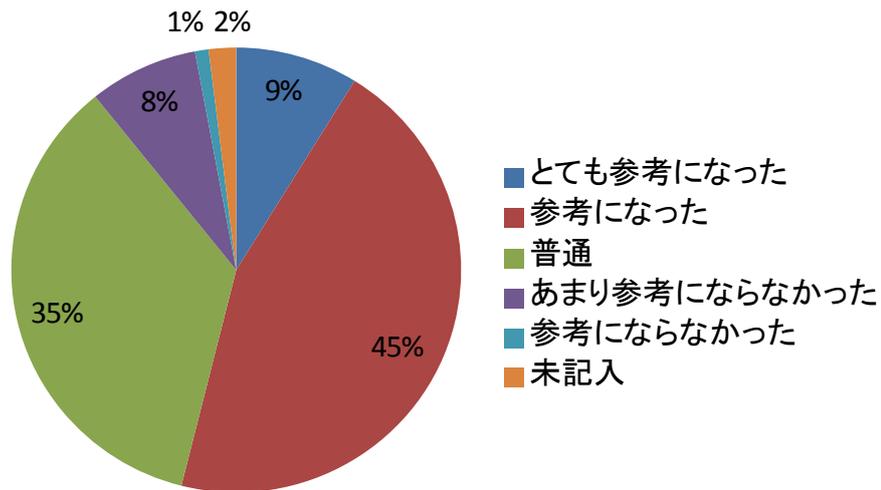
3. 今回のフォーラムの各プログラムについての感想をお聞かせ下さい。

【海洋情報に関する取組の現状】

①政府全体の取組について

1) とても参考になった	9名
2) 参考になった	46名
3) 普通	36名
4) あまり参考にならなかった	8名
5) 参考にならなかった	1名
6) 未記入	2名

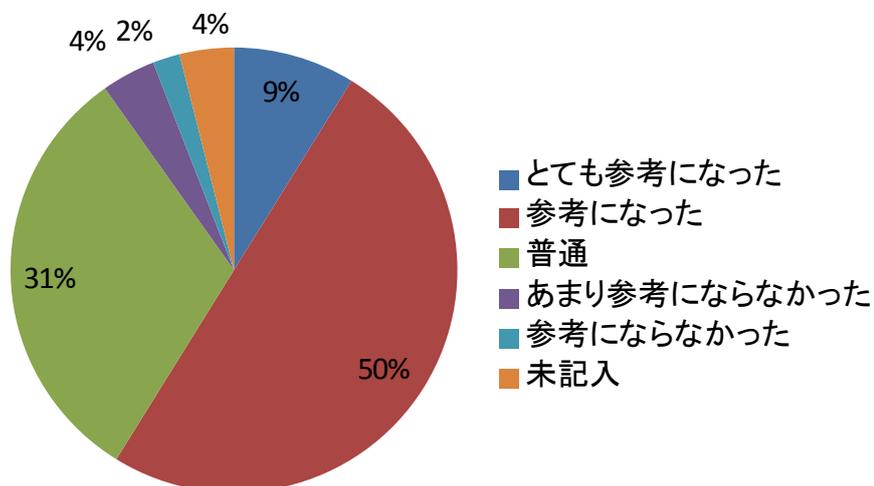
(計 102件)



②海上保安庁の取組について

1) とても参考になった	9名
2) 参考になった	51名
3) 普通	32名
4) あまり参考にならなかった	4名
5) 参考にならなかった	2名
6) 未記入	4名

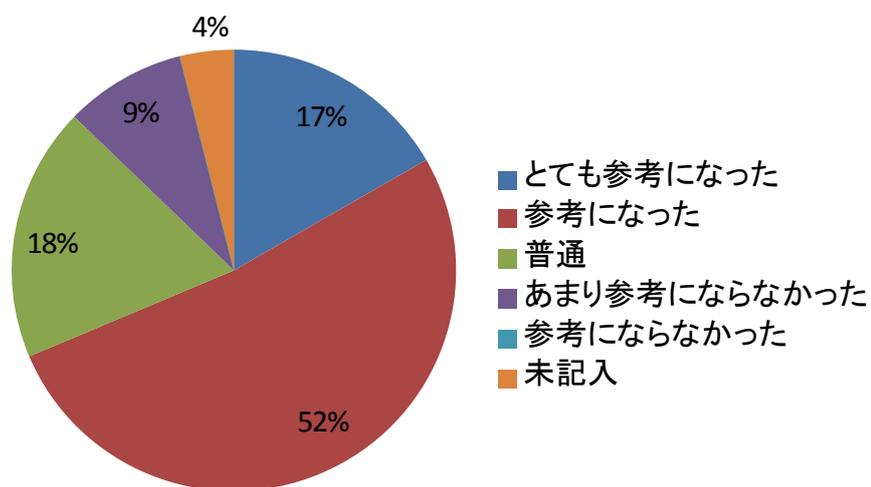
(計 102件)



### ③産業界、地方公共団体における海洋情報の活用実態等について

1) とても参考になった	17名
2) 参考になった	53名
3) 普通	19名
4) あまり参考にならなかった	9名
5) 参考にならなかった	0名
6) 未記入	4名

(計 102件)

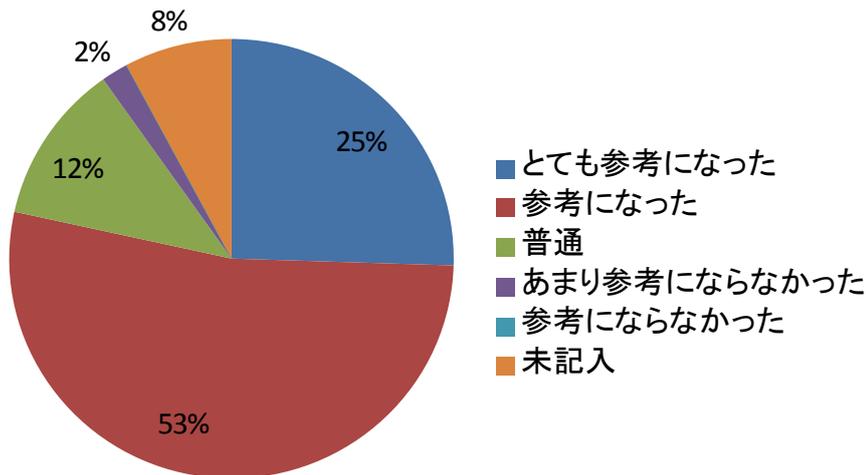


【パネルディスカッション】

①第Ⅰ部 海洋の開発・利用・保全に向けた海洋情報の更なる活用

1) とても参考になった	26名
2) 参考になった	54名
3) 普通	12名
4) あまり参考にならなかった	2名
5) 参考にならなかった	0名
6) 未記入	8名

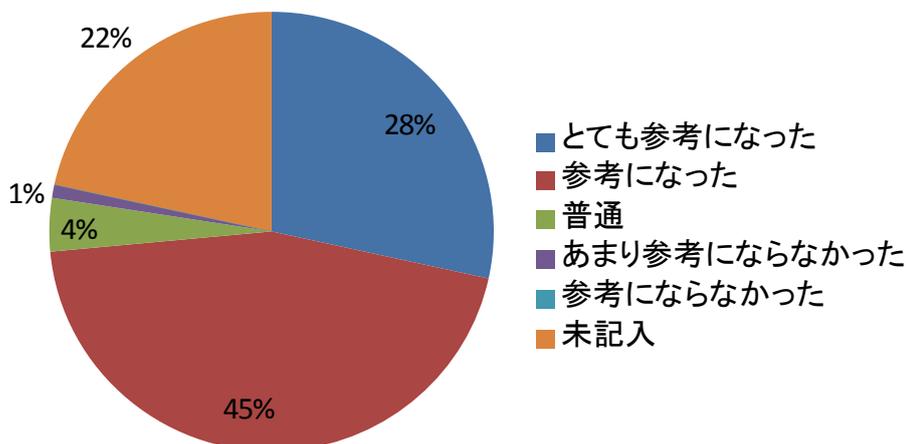
(計 102件)



②第Ⅱ部 海洋情報を活用した新産業創出の更なる活用

1) とても参考になった	29名
2) 参考になった	46名
3) 普通	4名
4) あまり参考にならなかった	1名
5) 参考にならなかった	0名
6) 未記入	22名

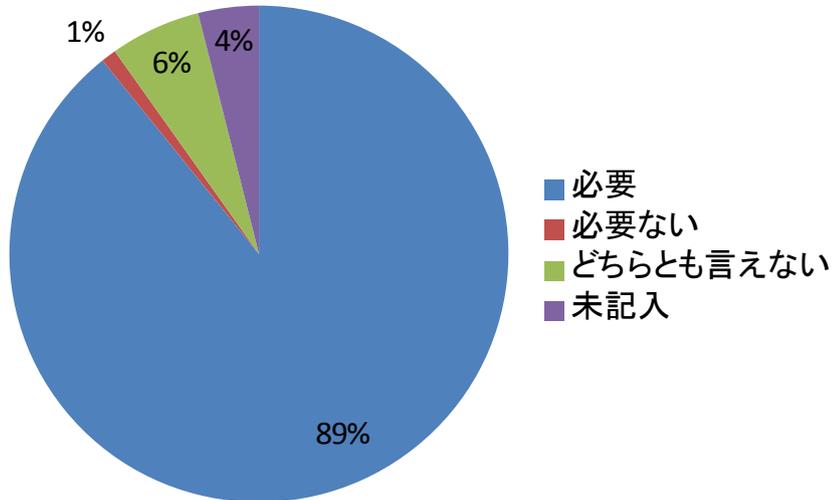
(計 103件)



4. 今後も、一般公開の形で海洋情報に関するフォーラム等の開催が必要と思いますか？

1) 必要	91名
2) 必要ない	1名
3) どちらともいえない	6名
4) 未記入	4名

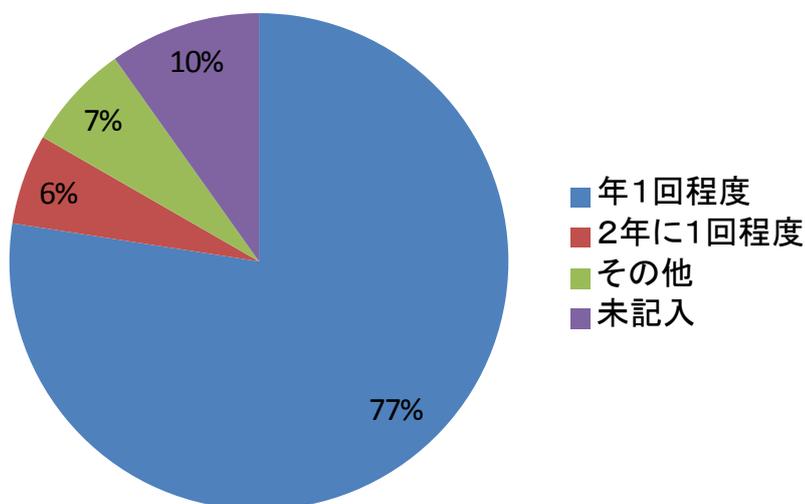
(計 102件)



5. (4. で「必要」と回答した方が対象) どのぐらいの頻度で開催するべきでしょうか？

1) 1年に1回程度	79名
2) 2年に1回程度	6名
3) その他	7名
➤ 年に2回(春、秋)	
➤ 必要の都度 等	
4) 未記入	10名

(計 102件)



## 6. 物足りなかった点や、より深く議論して欲しかった点、今後検討して欲しいテーマ等

(自由記述)

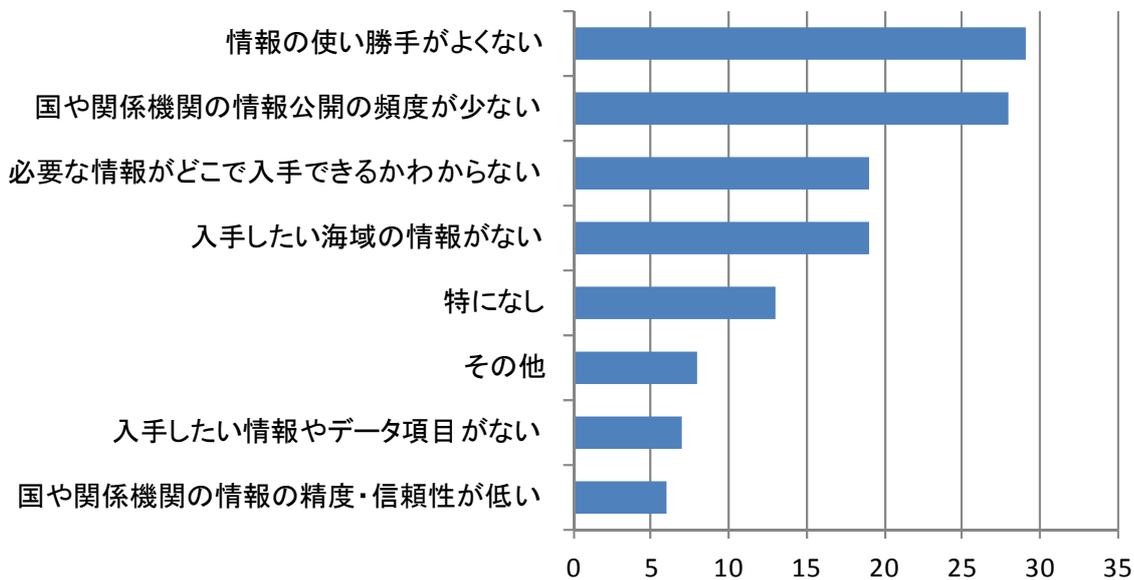
(主な回答)

- ・ 海洋情報の公開のあり方（どこまで情報を公開するか、ナショナルセキュリティ問題等）。
- ・ 海洋情報産業に提供する海洋情報の取得（観測、予測）についての考え方。
- ・ 海洋情報分野で活用可能な補助金、受託事業など。
- ・ 海洋情報分野における新技術導入によるイノベーションの状況について。
- ・ 海洋情報、収集、提供のロードマップについて。
- ・ 海洋情報収集・提供における日本の体制上の問題点。
- ・ データポリシーのあり方。
- ・ 海陸間でのインターネット通信環境の利便性向上、衛星の活用等。
- ・ 海底資源開発に関する取組について（資源開発への海洋情報活用、情報公開のあり方等）。
- ・ 活用方法の例示が多い反面、そもそも何が公開されているかの説明が少なかった。今後の情報公開の内容、ターゲットの議論が進み改善されてくるとは思いますが、基本的に何が公開されているか、検索方法の概要の説明があれば、より理解が容易だったと思われる。
- ・ 時間が短く、パネルディスカッションの議論が不十分。開始時間を早めるべき。
- ・ 紹介のあった活用事例に新鮮味がなく、将来の利用に繋がる議論が足りなかった。
- ・ パネルディスカッション第Ⅱ部は大変参考になった。新しい視点をもった民間が参入できる道を是非作るべき。

7. 貴社・貴組織において、海洋情報を利用する上での課題がありましたらお聞かせ下さい。  
(複数回答)

- 1) 国や関係機関の情報公開の頻度が少ない  
(情報が古い、情報公開が遅いなども含む) 28名
- 2) 国や関係機関の情報の精度・信頼性が低い 6名
- 3) 情報の使い勝手がよくない(加工しにくい等) 29名
- 4) 入手したい海域の情報がない 19名
- 5) 入手したい情報やデータ項目がない 7名
- 具体的にはどのような情報・データでしょうか？
  - 漁業権区域
  - 詳細な海底地形図 等
- 6) 必要な情報がどこで入手できるかわからない 19名
- 7) 特になし 13名
- 8) その他 8名
  - サイトの使い勝手が悪い。Google, Amazon のように直感的に操作できることが必要。
  - 情報量の推移、アクセス頻度の統計、情報密度の公開をお願いしたい。 等
- 9) 未記入 22名

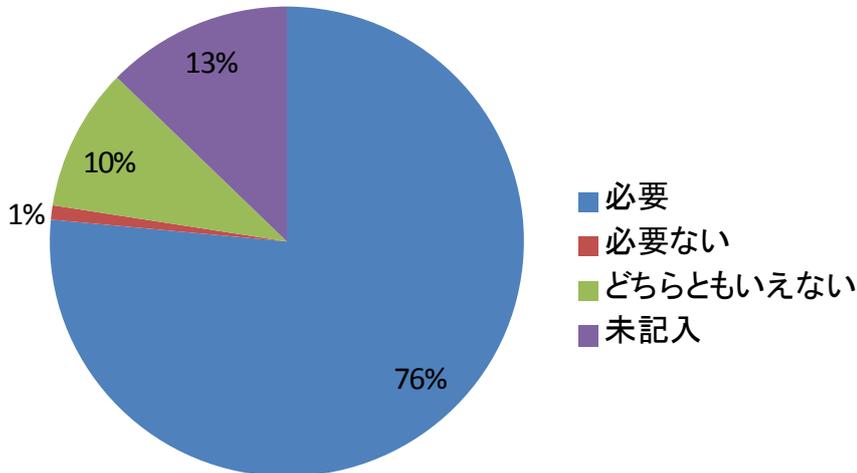
(計 151件)



8. 貴社・貴組織において、今後、海洋の開発・利用・保全等の業務に取り組む上で、海洋情報をより一層利活用していくことが必要とお考えでしょうか？

1) 必要	78名
2) 必要ない	1名
3) どちらともいえない	10名
4) 未記入	13名

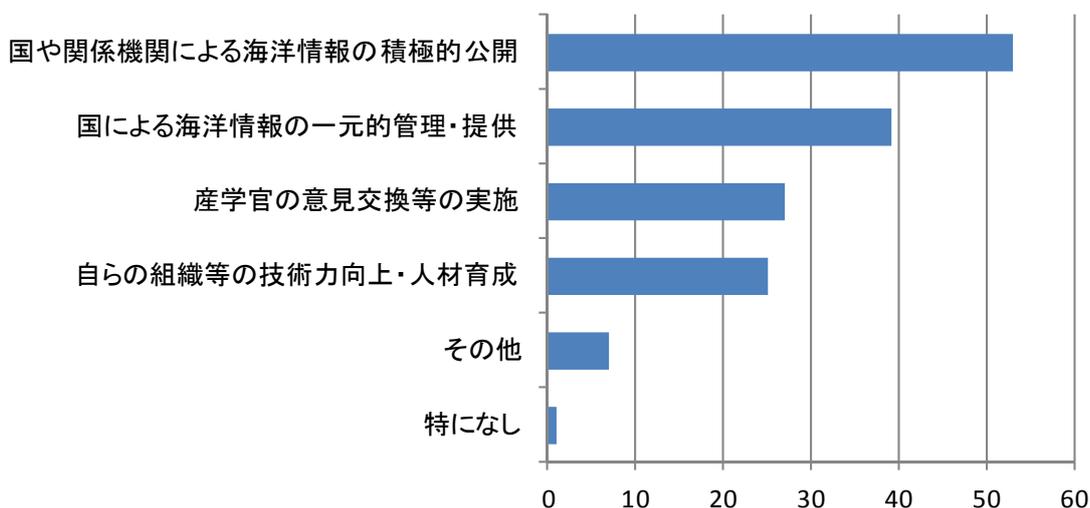
(計 102件)



9. (8. で「必要」と回答した方が対象) 貴社・貴組織において、海洋情報を利活用する上で必要と考える施策や取組についてお聞かせ下さい。(複数回答)

1) 国や関係機関による海洋情報の積極的公開	53名
2) 国による海洋情報の一元的管理・提供 (システムの充実等)	39名
3) 産学官の意見交換等の実施	27名
4) 自らの組織等の技術力向上・人材育成	25名
5) 特になし	1名
6) その他	7名
<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ データはオープンにしつつも、国内研究者や調査会社の技術を守るデータ公開</li> <li>➤ 情報の正確性確保</li> <li>➤ 情報フォーマットの統一</li> <li>➤ 海洋情報の充実のための海洋調査 等</li> </ul>	
7) 未記入	23名

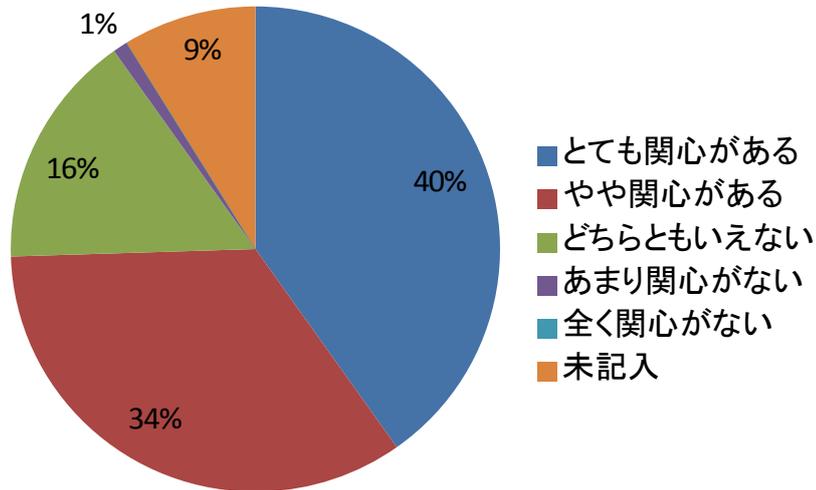
(計 175件)



10. 海洋情報を活用した新たなビジネス展開への関心はありますか？

1) とても関心がある	41名
2) やや関心がある	35名
3) どちらともいえない	16名
4) あまり関心がない	1名
5) 全く関心がない	0名
6) 未記入	9名

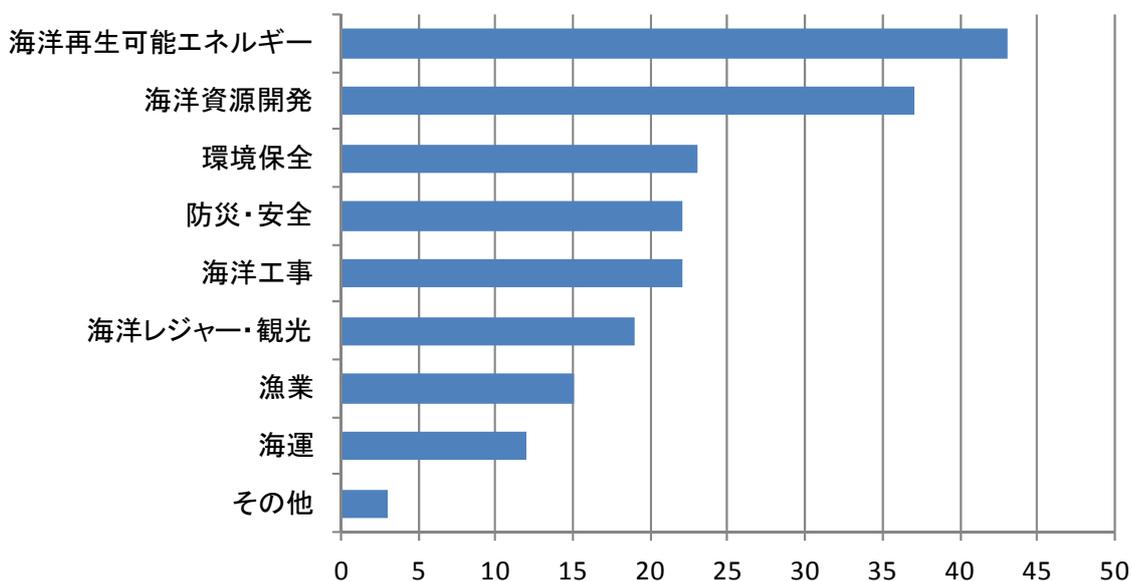
(計 102件)



11. (10. で「とても関心がある」「やや関心がある」と回答した方が対象) 海洋情報を活用した新たなビジネス展開の分野として想定される分野をお聞かせ下さい。(複数回答)

1) 海運	12名	6) 海洋資源開発	37名
2) 漁業	15名	7) 海洋再生可能エネルギー	43名
3) 海洋工事	22名	8) 海洋レジャー・観光	19名
4) 防災・安全	22名	9) その他	3名
5) 環境保全	23名	10) 未記入	26名

(計 222件)



## 12. 本フォーラム全体を通しての感想、または国土交通省（海上保安庁）の海洋情報に関する取組への意見、要望等。（自由記述）

（主な回答）

- ・時間が短いので拡充をして欲しい。
- ・本日の内容をホームページ等で公開して欲しい。
- ・パネルディスカッションは非常に勉強になった。実際にデータを必要とする立場の話はなかなか聞く機会がないので良い機会となった。
- ・大変良かった。民間のバイタリティーを強く感じた。
- ・海洋情報を取得するビジネスを継続することで、技術発展もあると思われる。本フォーラムのように官民の参加による情報ビジネスに関する議論も期待したい。
- ・現在、何を公開情報とするかなどポリシーの面でまだ絞り切っていないように思われる。公開情報に合わせて、フォーラムの検討対象を絞るなどの工夫が必要ではないか。
- ・目的と成果が何なのかが不明。手段や技術から入るべきではない。
- ・パネルディスカッションⅡ部で話があったコンビニの出店検討戦略は、情報データ活用例が具体的で分かりやすかった。
- ・気象・海象・陸象を一元的に捉えた取り組みを行うべき。
- ・沿岸域の地形、地質情報の充実。
- ・近年、気象の変化が大きく通年の平均を取るようなやり方では対応できないこともあり、新しい情報の公開を望んでいる。
- ・海洋資源や再生可能エネルギー分野に対応した情報提供のあり方を検討して欲しい。
- ・潮流発電装置の研究を行っているが、流速等のデータが一部の海域しかないと苦勞している。今後、海洋データの質や量の拡大に期待したい。
- ・安全保障に係わらない部分については積極的に公開（ダウンロード）し、民のビジネスを活性化することが重要。
- ・海洋情報の中には、自国のみに限らず、他国の人にとっても有用なものが含まれる。全てを制限するものではないだろうが、セキュリティ管理も重要。

## 13. 回答者情報

（1）性別

1) 男性 77名      2) 女性 7名      3) 未記入 18名      (計 102件)

（2）年令

1) 20代 4名      2) 30代 11名      3) 40代 17名      4) 50代 23名  
5) 60代 31名      6) 70代以上 2名      7) 未記入 14名      (計 102件)

（3）所属

1) 民間企業 43名      2) 大学・教育機関職員 4名      3) 研究機関 5名  
4) 国家公務員 7名      5) 地方公務員 1名      6) その他 6名  
7) 未記入 36名      (計 102件)

以上